

合同防災訓練を開催しました

11月15日（土）豊田小学校・地域「合同防災訓練」を開催しました。

午前8時のサイレンを合図に9時より安否確認訓練を行い、その後、豊田小学校に集合し、児童・保護者・教員と行政・消防団、防災役員、家庭防災員、組長、防災ボランティアの参加で訓練を開始しました。今回は6年生の児童に心肺蘇生訓練を地域の人が指導にあたるため事前に消防署長・消防団のレクチャーを受けました。

（訓練内容）



地域の訓練は①本部設営・区割り・公衆電話の設置 ②避難者カード記入、ボードへの貼付 ③防災備蓄倉庫(備蓄品)の展示 ④下水直結型トイレの組み立て ⑤受水槽からの飲料水確保訓練が行われました。

児童の訓練は、10時55分の「地震発生」の想定で開始。教室から校庭への避難訓練、その後児童及び教員、栄区担当職員、消防署、消防団、地域との対面式が行われました。



その後、3年生は備蓄庫備蓄品の見学、下水直結型トイレの見学、4年生は受水槽からの飲料水確保、5年生は消防署員の指導により水消火器の初期消火訓練、6年生は消防団、地域の方の指導により、「あっぱくん」を使用した心肺蘇生訓練を行いました。



対面式を含め訓練中も児童の挨拶や受け答えが良いのが印象的でした。

今回の参加者は総勢約600名となり、訓練の重要性に関心が高まっていると感じました。ご協力頂きましたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。